

くまの 議会だより

運転手さん、

安全運転でいってらっしゃい！！



7月6日に行われた交通安全街頭キャンペーンにて



6月定例会
7月臨時会

- いよいよ「熊野町立図書館」始動！..... 2
- ズバリ！町政を問う..... 4
- 議会審議ピックアップ..... 8
- 発見！熊野町のエエところ..... 9
- グループ紹介 「西公民館囲碁同好会」..... 10

第55号
2005.8.1



勝負の決め手は「集中力」！
年齢に関係なく楽しめる、碁盤の上での熱い戦い。

「西公民館囲碁同好会」



第34回町民囲碁大会参加者のみなさん

意外な熱気に少し戸惑いました。私が取材に伺ったのは7月9日に西公民館で行われた、第34回町民囲碁大会の会場。「囲碁」というと、静かな部屋の中で「パチリ！パチリ！」と石を置いていくイメージで、「カメラのシャッター音がうるさかったらどうしよう」と勝手に想像していたのですが、見事に覆されました。

和室に40人ほどの囲碁愛好家の方達が集まって対局している様子は、静かというよりはむしろ熱気が伝わってくる状況。真剣勝負の中にも、和気あいあいの雰囲気では進んでいく様子に、私は何だか、嬉しい誤算をしたと思います。

西公民館を中心に活動している「囲碁同好会」の登録者数は45人。50〜80歳の男性が中心で、なかには全国クラスの有段者もおられるとか。19×19のマスの上で繰り広げられる勝負に魅せられてはやウン十年の方達が多いようです。囲碁の魅力については「相手を打ち負かすこと」や「頭を使う」など色々あるようですが、私が見たところ、勝負が終わった後に観戦者の方を含めて「あそこに打ったときやよかったんじゃない」とか「いや、



あの石がイキとんじゃけ……」などと、ワイワイと談笑するところが一番楽しそうでした。

そんな「囲碁同好会」ですが、一番の悩みはやっぱり「高齢化」。全国的には、最近少年向けの囲碁漫画が連載されていることもあって、小学生の愛好家も増えているとのことですが、熊野町ではなぜか女性・子供からは遠い存在のようです。



囲碁を楽しむには、専門用語やルールを覚えなくてははいけません。が、覚えてしまえば、コンピュータでもまだまだ人間には及ばないほど「奥が深い」世界のようです。

活動は毎週土曜の午後と、日曜の朝から夕方まで。興味を持たれた方、この機会にやってみたいと思われる方は、お気軽に連絡を。

問い合わせ先
西公民館囲碁同好会
代表者 小坂田 忠
☎854-11629まで。

次の定例会は、
9月14日(水曜日)
開会を予定しています

議会だより題字
荒谷 大丘さん

表紙写真
海田警察署の方と
中央保育所の園児たち

あき 空梅雨と思いきや、一転大雨になったりと、今年の夏も不思議な天候。でもおかしなのは季節だけでなく、最近世の中の倫理や常識といったモノの歯車が狂ってきているとしか思えない、心を痛める出来事の多いこと……。特に、未成年の思いがけない行動には本当に驚かされます。

こうした事件の背後には、かなりの割合で「インターネット」の存在が見え隠れ。この「インターネット」という情報源は非常に便利で、現代社会には必要不可欠ですが、逆に不必要な情報まで得ることができるといふ「諸刃の剣」でもあります。

当議会でも、熊野町のホームページ内で議会を紹介する場所を設けていますが、ネットで公開する情報に限らず、情報の扱いは十分に注意する必要があります。とかく「情報公開」だけが注目されがちですが、誰にとっても何の情報が必要なのかを、しっかり考えなければいけません。この「議会だより」は、常に町民の視線に立った、分かりやすい広報を目指して作っていきたいと考えています。